

下水処理場の維持管理コスト縮減策（松山市）

【取組概要】

運転・維持管理業務委託について「仕様発注」から「性能発注による包括的民間委託」方式に転換し、業者に自由度を与えることにより、高度な技術力や専門知識の有効活用が図られ、経営努力によるコスト縮減を達成。

人口 514,781人
担当部署 下水道部 下水道サービス課
（下水浄化センター）

【取組みの効果】

H17年度に試行的に開始。現状では4施設全てで実施
管理委託費の縮減
従来型委託と比較して、委託費約8%のコスト減
職員人件費の縮減
委託方式見直しにより5人の人員削減



松山市中央浄化センター



松山市西部浄化センター

【他団体へのアドバイス】

年度ごとに業務の履行状況や薬品等のコスト、処理水質の達成状況などについての評価を実施し、次年度に反映させることが大事。

【創意・工夫した点】

処理水の基準をどのように設定するかが課題であったが、「契約水質」と「要求水質」の2段階に分け、より質の高い要求水質を基本に適切な現場運転の監督指導を実施。